

平成19年度 第16回三島ゆうすい会総会

平成19年3月11日(日)、Via701(本町)において三島ゆうすい会総会が開催されました。会長塚田玲子の挨拶の後、来賓の小池政臣三島市長、宮沢正美三島市



△第16回三島ゆうすい会総会の開催の挨拶を述べる塚田玲子会長

議会副議長からのご挨拶がありました。次に議長を理事岩田重理、議事録署名人を理事中西康徳、柴原俊介さんが務めました。議案説明、事

業報告等を事務局長秋山峰治、決算、予算会計報告等を理事大村洋子が行い承認されました。また、議事録作成人は理事佐藤久美子が務めました。



△地震の仕組みを説明する小澤邦雄静岡県地震防災センター所長

総会に続いて、小澤邦雄静岡県地震防災センター所長による講演会が行われました。「大規模地震に備えて」と題して、近年発生した国内外の地震後の視察や調査研究について詳しく説明されました。また、三島ゆうすい会発行の「北伊豆震災と三島の復興写真集」を事前にお送りしておいたの、昭和5年11月26日の北伊豆地震についても話されました。阪神大震災で亡くなった6,000余名の尊い命の80%は家屋倒壊による圧死だったことから、家屋の耐震化や建て替えを強く奨められました。

交流会は、峰田武三島市観光協会会長のご祝辞、顧問中川和郎の乾杯で、和やかな雰囲気の中、小澤先生への質問も多く出されました。



△交流会の様子

平成19年度の三島ゆうすい会の活動は、「三島湧水マップ2007」の作成、「水よ輝け!三島の水辺写真展」、「北伊豆震災と三島の復興写真集」の実費配布などが主な事業となります。

第4回身近な水環境の全国一斉調査

平成19年6月3日(日)、第4回全国一斉川の水質調査を行いました。

大場川班は小松幸子、宇水勉、柴原俊介の3人で上流(青木橋)、中流(神川橋)、下流(うるおい橋)の3カ所、町なか班は佐伯忠夫、水野幾子、大村洋子、大村皖伸の4人で源兵衛川の芝橋、かわせみ橋、御殿川の伊豆箱根鉄道鉄橋下(田町)、桜川の白滝公園と三島市民生涯学習センターの連絡橋の4カ所で、気温、水温、CODの検査を記録。CODはいずれも良い結果でした。



↑大場川と山田川との合流地点での水質調査風景



↑いざ!全国一斉河川の水質調査へ!

←大場川、青木橋付近での水質調査風景

2007年「水と蛍のフェスティバル」 たくさんの人でにぎわう！！

今年で15回を迎える「水と蛍のフェスティバル」が6月2日（土）に三島市立公園楽寿園をメイン会場に、一日中開催されました。今年は実行委員長を志村肇顧問が務めました。三



会場へ緒明賞名誉会長も来訪

島ゆうすい会では、それぞれの担当場所で来場者の案内などに一生懸命でした。楽寿園南作業門は、水野幾子理事、柴原俊介理事、大庭治美さんが、家族連れに「暗いので、足元に気を付けてください」などと声をかけ、南出口は、宇水勉理事、中西康徳理事、大村皖伸さんが蛍の見えるところを聞かれ、案内に忙しく、駅前口の越沼正さんは「今日は特別に入場無料です。皆さんどうぞ」と呼びかけていました。

本部席には、塚田冷子会長、小松幸子副会長、大村洋子理事、佐藤久美子理事が詰め、接待や案内、迷子の対応、抽選会の説明などに追われていました。



来賓各位来訪

夜の部、メイン会場では、ゲストの歌を聞き、来場者も「水よ輝け」を大合唱して楽しみました。

暗くなってくると、子供たちをはじめ来場者は、蛍の観察に期待が高まっていました。舞台上に全員の



ステージも観客も元気！
早く暗くなあれ！蛍にも会いたいよ！

目がひきつけられていき、初めてホテルを見た人、懐かしい時代に思いを馳せる人が、同時体験をする貴重なひとときとなりました。

音響と実行委員を担当した秋山峰治事務局長は、「ホテルが舞う街として、水の大切さを改めて実感しました。三島ゆうすい会の活動もまだまだたくさんあると思っています」と感想を述べました。



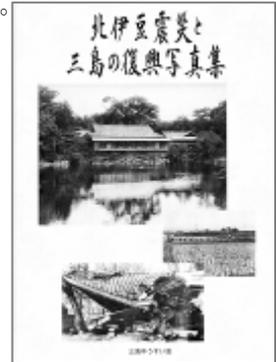
ホテルが放され、手にとまった！！

●『北伊豆震災と三島の復興写真集』 に大きな反響

『北伊豆震災と三島の復興写真集』が完成し、3月11日の総会でお披露目をしました。この写真集は、昭和5年に発生した北伊豆震災の被害とその後の復興の記録を発掘・復刊したもので、写真の1枚1枚から、北伊豆震災の惨状と、その中から力強く立ち上がった三島人の活力を感じることができます。

写真集の編集にあたった柴原俊介理事は、「北伊豆震災が思ったより広範囲に凄まじい被害をもたらして

いたこと、復興写真が正確に当時の三島市民の生活様式を映し出していたことに驚いた。また、現在のようない機動力のない時代に、人力のみで復旧にあたる姿には、何よりも人を助けようとする心が伝わってきた。予想される東海地震に対しても、いつでも協力できる体制を作っておくことが大切なのではないか」と話しています。



「北伊豆震災と三島の復興写真集」

完成した写真集には、写真集に写っている方の関係者はもとより、各方面から大きな反響をいただきました。

6月1日に放映されたNHK静岡「たっぷり静岡」の特集では、市内中央町の扇屋さんが保存されていた北伊豆震災の記録フィルムと、『三島市誌』で地震災害の項を執筆された土屋寿山先生とともに、塚田冷子会長、大村皖伸会員が三島市立坂小で行った写真集を使った特別授業の様子が紹介されました。本会では、この写真集を市内各小・中学校や市立図書館などに寄贈しました。今後も広く三島人の歴史が語りつがれ、震災への心構えが育まれることを願っています。

●南小の児童の見学

平成19年4月27日（金）、三島市立南小学校の児童24名が三島市ふるさとガイドの案内で、塚田会長宅を訪れました。子供たちは、「ホテルの幼虫を初めて見た」と歓声を上げ、水琴窟の音色に感動していました。

この日の1番の感想は「僕の家にもこういうお庭がほしい」でした。



活動あれこれ

●小5の授業で「水」の話をしました

平成19年2月14日(水)、三島市立長伏小学校からの依頼により、三島ゆうすい会の塚田冷子会長と志村肇顧問(三島ホテルの会会長)の2人が、5年生の社会科の授業の中で、湧水の仕組みや、昭和30年以前の三島の水の様子などを話しました。



△湧水の仕組みを話す志村肇顧問

話をしながら、5年生ともなるとかなり理解しているな(4年生に話したときと比べて)と感じましたが、学校から送られてきた子供たちの感想文を読み、改めて子供たちの感性に驚きました。一部をご紹介します。

「私は、三島のわき水について聞いて、もっと水をむだなく大切に使いこなさなければならないということが分かりました。今まで、水を余分に使ってきました。でも顔をあらう時や、歯みがきの時には、コップを使う。顔をあらう時は余分に水を出さないなど、節水をして水を大切に使い使いたいと思います。そして家族にも教えて節水を実践していきたいと思います。そして、また50年前の小浜池のようになったら良いなと思います。私はいつまでも、きれいでおいしい水を飲んでいきたいです」

「先日は、いろいろ水のことを教えていただきありがとうございました。今まで三島の水の勉強をしてきました

が、知らないこともたくさんあったのでよく分かりました。

三島の水(わきみず)を取りもどそうという活動をしている人々を見ていると(すごいなあ)と思いました。私たちにできることは『節水を心がける』ということをも自分で心がけたいと思います。これからは三島のわき水を守ってください。応接しています」

「先日は、三島の湧水についていろいろとお話をいただきありがとうございました。ぼくは、この話を聞いて三島の湧水について関心を持ちました。だんだん少なくなってきた三島の湧水を復活させようとする「三島ゆうすい会」があることを知り、びっくりしたと同時に、すごいなと思いました。お話は、とても分かりやすく、今まで知らなかったことがたくさんあり、おどろきの連続でした。湧水のしくみや、会のがんばり努力等です。ぼくは、これからの三島の湧水につ

いて、深く考えるようになりました。三島の湧水が少なくなった原因は、人です。人が増え、山をけずって建物を作り、水をたくさん使った人です。ぼくは、人がもっと三島の水に関心を持ち、大切にするべきだと思います。これからは活動がんばってください。本当にありがとうございました。



△水の大切さを話す塚田冷子会長

小学5年生の子供たちの感想文を読んで、どのようにお考えでしょうか。

●七草がゆの集い

平成19年1月7日(日)、塚田冷子会長のお庭で七草がゆの集いが行われました。今年はいまだで一番寒い日でしたが、塚田冷子会長の七草がゆについてのお話の後、コール・ロベリアの歌を聴きながら、七草がゆをいただきました。



今年も健康と無事を祈って

理事が自動車でいただきにあがるのですが、毎年、必ずのように何かハプニングが起こるのは何故でしょうか。

<ハプニングその1>

ある年、箱根への道から内藤さんの仕事場を目指しましたが山の中の道はだんだん細くなり、車が谷底へ落ちそう

で、怖くてなりません。畑で農作業をしている人に道を聞くと、全く別の山道を走っているのでした。帰りに反対側から山を降りると、よく知った玉沢の奥であることが判明しました。

<ハプニングその2>

別の年、三島の街も朝から雨が雪に変わり、一度向かったものの夏梅木の秋山宅まで引き返し、チェーンのつく車に乗り換えて内藤さんの仕事場へ向かいました。内藤さんは雪で危険だからと途中で立ち往生をしていて、私たちは方々へ連絡し確認しながらやっと内藤さんと出会うことが出来たのです。あまりに帰りの遅い塚田会長を心配した会長の家人から、会長はそれ以後携帯電話を持たされることになりました。

<ハプニングその3>

また別の年、内藤さんから七草をいただいて降りて来て、秋山さん宅で塚田さんの車に乗り換えたところ塚田会長の車はエンジンがかかりません。あわてて、JAFやら、あちこちに電話をするなど、困り果てていました。そこへ、秋山さんのご長男が出てこれ、エンジンをかければ、あら不思議、難なくかかりました。

来年こそは、何事もなく無事に行って来たいと思っています。

「三島湧水マップ 2007」完成!

本会が5年前に発行した『三島湧水マップ 2002』の改訂版である「三島湧水マップ 2007」が完成しました。今回は、三島ゆうすい会とNPO法人グラウンドワーク三島が共同で編集・発行し、協賛として特種東海ホールディングス株式会社から用紙を提供していただきました。編集にあたって、この5年間で美しくなった三島の水辺景観や街なかの変化を再認識させられましたが、残念ながら、三島湧水の復活には、まだまだ努力が必要のようです。



会員の皆様へ感謝を込めて、『三島湧水マップ 2007』を贈呈いたします。今回の『ゆうすいNEWS』に同封しますので、湧水めぐりのガイド資料や子供たちの環境学習の教材として、ぜひご活用ください。

H H K 「小さな旅・静岡三島」

5月27日(日)を前後して、「小さな旅」は5日間・全6回放送されました。三島の水にこだわるというテーマで、水とホテルのことについて塚田冷子会長が撮影に参加しました。ディレクターが2カ月前から三島の街を自分の足で見て歩いたそうです。



放送後は、ブラジルやタイで番組を見たという人をはじめ、たくさんの人から事務局に連絡をいただきました。

モクズガニ放流を断念

平成18年4月に、浜名湖魚協会からモクズガニを買い入れ、桜川や山田川に放流をしたカニは、石垣の割れ目から爪を覗かせ、見かけるようになりました。今年も放流を予定していましたが、水揚げが少なく購入はできず放流を断念しました。来年できればと、願っています。

第2回狩静岡県俳句大会

伊豆高原かんぼホテルで行われた、狩静岡県俳句大会で塚田冷子三島ゆうすい会会長の句が、(鷹羽狩行主宰選・当日句)特選に選ばれました。

箸置き
竹の真青や
夏は来ぬ

冷子

蓮沼川(宮さんの川)へ設置の水車リニューアルのお願い

この度夫婦水車の老朽化が進み、応急処置ではもう限界です。三島ゆうすい会は、竹下建設(竹下 達社長)の協力や遊水匠の会とNPO法人グラウンドワーク三島の協賛により秋には水車をリニューアルすることにしました。皆様のご協力をお願いします



今 後 の 予 定

【定例活動(作業等)】

●源兵衛川清掃

原則として毎月第2日曜 13:00~水の苑緑地・かわせみ橋集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参「源兵衛川を愛する会」とともに



△「源兵衛川を愛する会」清掃風景

●桜川清掃

原則として毎月第1土曜 10:00~

白滝公園集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜 10:00~三島梅花藻の里集合 長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参 ★ いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください!雨天時は原則としてお休みです。

会費・ご寄付・資機材支援

★皆様のご支援ご協力を心より感謝申し上げます。

●ご寄付(敬称略・順不同)

嶋野安子(ニューヨーク在住)
内田弘一(沼津市)
石川ぬい子(三島市)

●会費ご入金

本年度会費(平成19年分)の納入にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます(詳しくは同封の案内をご覧ください)

〈年会費金額〉

- ・正会費 3,000円
- ・賛助会費1口 10,000円

〈お振込み先〉

- ・郵便振替 0840-4-118192
加入者名:三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
普通預金 No.0346532
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
普通預金 No.572969
- ・三島借入金庫西支店
普通預金 No.1042399
口座名:三島ゆうすい全
会長 塚田冷子